

やる気いっぱい 笑顔いっぱい 元気いっぱい
かがやく山内西の子



武雄市立山内西小学校
学校だより 17号
令和7年12月1日発行
文責：校長 松尾 寛

学校創立150周年事業へのご協力、ありがとうございました！

今日から師走となり、今年も残り一ヵ月となり、せわしい季節となりました。山内西小の子ども達の中で、4年生の5名の子ども達(犬走ひなみさん、田代かなさん、外尾さなさん、御厨みはなさん、森ゆいかさん)が、登校途中に拾った硬貨を学校に届けてくれました。5人の子ども達の清く正しい思いに感心しました。5人の子ども達に拍手をおくりました。

「清く 正しく 朗らかに～♪」と歌い継がれている校歌の下、先月27日に150周年事業を行いました。多くの方々のご理解とご協力を得て、無事に終えることができました。本当にありがとうございました。皆さんの志を200周年に向け、子ども達が受け継いでいきます。



サガン鳥栖のウイントス君、高橋元選手、PTA 理事の皆さんによる、あいさつ運動からスタートしました。1,2年生



1 時間目は、サッカー体験教室でミニゲームをしたり、高橋元選手の華麗なプレーを見たりしました。



2 時間目は、運動場でドローンによる記念撮影を、子ども達、保護者さん、地域の方々、教職員で行いました。



3 時間目は、授業参観で50年後の自分や学校を想像したり、山内町のことで学んだことを発表したりしました。



4時間目は、甲子園で優勝された、久保貴大さんによる講演「野球を通して伝えたいこと」を行いました。



久保さんのお話を聞いて、6年生が真に迫る質問をしたり、学年の代表の子どもが野球体験をしたりしました。

久保貴大さんは、小学生の頃から自分の夢をもって毎日の野球の練習を続けたことによって、甲子園出場だけでなく決勝戦に勝って全国優勝ができたことを話されました。それに対して、6年生の児童が、「自分が大きな夢をもって、挑戦しているけれど、時々、その夢の大きさに自分の心が折れそうになり、あきらめそうになります。そのような時は、どうすればいいのでしょうか。久保さんなら、どうされたか、教えてください。」と、周りの大人が驚嘆する素晴らしい質問をしました。久保さんは、「夢は、その大小に関わらず、自分自身が毎日、一步一步、どうすれば達成できるかを考えて、努力し続けた人だけが達成できるものです。」と答えました。私は、この場面こそが、今回の150周年事業で、山内西小学校の歴史に記録を残すとともに、子ども達の記憶に残るものにしたいと考えたことにふさわしいものでした。これからの未来を生き抜いていくのは、子ども達であり、子ども達自身が自らの問いに対し、より良い解決方法を考えて挑戦することが大事になってくると考えます。

撮影した動画・静止画をクリアファイルやタブレットでご覧いただけます！

今回、プロの動画クリエイター、写真家、ドローン撮影者による、数多くの写真や動画を撮影して頂きました。ご協力に感謝しています。ありがとうございました。その貴重なデータを、個人情報の流出防止を最優先に考え、子ども達全員にクリアファイルに写真を掲載したものを配付します。また、学校内で使用しているタブレットのみで視聴することができるよう、準備を進めています。いずれも12月中旬に完成予定ですので、お楽しみに。

最後に、PTAの予算を活用し、子ども達に紅白餅と、校歌がプリントされた手拭いを配付させていただきました。宮副会長様をはじめ、常任委員の皆様の皆様のお力添えにも感謝します。

